

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

2022/3/1

No.688

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝

Shinran
50th
88th
00th

大字城

ROKUJIJO



大川沿いの桜並木（撮影者 西松 薫）

「豊かになって生きる」とは
「冬季オリンピックをとおして」
武宮 信勝

新型コロナウイルス「オミクロン株」が全国で毎日8万人前後が感染し、まん延防止等重点措置法も3月6日まで延長されることになった。私も3回目のワクチンの接種を受けたとはいえ、高齢者でもあり、なおかつ基礎疾患も抱合せているので、ほぼ外出を控え自宅（輪番所）にすごもりすることが多くなった。そんな中、17日間に及ぶ冬季北京オリンピック観戦が退屈な時間を忘れ、楽しい思いにさせてくれたことは何よりも有難いことでした。

昭和24年、北海道音更町に生まれ育った自分。小・中学校時代は冬の体育はスケート靴を履いて氷のリンクを走り回っていた。屋内体育館の無い時代に育ったことで、ウィンタースポーツと言えば、屋外でのスケートとスキーしか知らない環境で育った。かつての500メートルの清水宏保選手・また今回大活躍の高木美帆選手も隣町出身。北海道育ちの選手が多いことも、より関心に拍車をかけていたのかも知れない。

今回、最終日まで釘付けになったのは女子カーリングであった。北見市出身ロコ・ソラーレ（チーム名）の彼女たちが、延11試合に臨んだ姿は、おそらく沢山の人々を魅了した事でしょう。チームの会話は絶えず、励まし、笑顔忘れず一投一投にうちこむ姿に。

表彰式で金メダルはもううちはできなかったけれど、悔しい思いを振り捨て、「ガンバッタね」と笑顔で、銀メダルをお互いの首に掛け合っている仕草は、金メダル以上の輝きを放っていました。そして「私たちはたくさん負けて、課題をたくさん見つけることができた」

【次ページに続きます】

法要・行事予定

3 月			4 月		
11日	東日本大震災犠牲者追弔会	(8時)	12日	一如上人御祥月御命日	(8時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)		闍如上人御祥月御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)	13日	闍如上人御祥月御命日 兼日中	(8時)
21日	春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨（物故者）追弔法要 (13時30分) 藤井 善隆 師（第2組 即應寺住職） 「本願力と私」		14日	琢如上人御祥月御命日	(8時)
25日	蓮如上人御祥月御命日	(8時)	24日	緯如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御遠夜	(14時)	27日	宗祖聖人御遠夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	(8時)	28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	(8時)
※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。			 		

永代経懇志について

「亡き人をご縁として」

「永代経懇志」とは、寺院が永代に渡ってお念仏のみ教を伝えていく道場として護持することを目的としています。主に人生を終えていかれた大切な方々のお別れをご縁として納めていただく懇志です。

天満別院では、本堂で毎月12日、春秋の彼岸に総永代経の読経が勤修されており、永代経懇志を納めていただいた方に読経にお会いいただくご案内をしております。一層のご理解とご賛同をお願い致します。



今月の伝道掲示板

生活の中で
念佛する
のではなく
念佛が
生活になるのです

—宮城 顥—

編集後記

3回目のワクチン接種が済みしました。発熱、関節痛、頭痛が続きましたが抗体が出来ている証拠でしょうか？ワクチン接種により、私の意志とは無関係に反応する身体に不思議を感じます。

三寒四温の時節と共にコロナの終息を願うばかりです。

(Y)

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

～ご縁を大切に～

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下る
TEL075-351-6325 FAX075-341-5255
https://www.kyo-kusaka.jp

春季彼岸会

並

総永代経法要

兼・墓地納骨(物故者)追弔法要

日時

3月21日(月)午後1時30分

場所

「本願力と私」

講師

藤井善隆師(第2組即應寺住職)

ご講師からのメッセージ

春秋のお彼岸の時節、真宗のお寺では「彼岸会」の法要が勤まり、亡き人々を偲びつつ「聞法」の会座が開かれます。私達の親代々から伝わってきた麗しさ仏事の伝統です。

何故私達は彼岸やお盆になれば、親・先祖を思い起こし、お参りをし手を合わせるのでしょうか。それは、私たちの中に親・先祖が生きておられ、この私に背に深い願いをかけてくださっているからなのでしょう。そして親代々を通して流れている生命の奥底に、更に深い大きないのちの願い・阿弥陀様の本願が働いているからです。私達の祖先は、折々の仏事に聞法しその仏の本願の声を聞いて、人間に生まれた意識に目覚め生きる真の喜びを見出してこられました。そのこと一つをまた私たちに願ってくださっています。

お寺に足を運び、手を合わせ、聞法するところに、既に祖先の願いとまでなった仏の願力に押し出されているのです。お寺の本堂に身を置き仏法に耳傾ける時、私たちは見失った仏性の本願、根源のいのちの願いに遇わせていただくのです。

「本当に無駄な経験なんて何一つないんだな」としみじみ語っておられた。今、私はこの発言から、あらためて教えられることがあります。

罪障功德の体となる

こおりとおおきにみずおとし
こおりとみずのごとくにて
さわりとおおきに徳おとし

『高僧和讃』

罪障が功德の本体となる。その関係は氷と水の如く一体であって水が多いので水が多いのと同じで、罪障が多いので功德も多い。

(現代語訳)

今日まで沢山の経験を積み重ねてきた私たち一人ひとり。時には悲しみや苦しみの連続であって、そのことが人生を決定づけるものではない。本当に豊かになつて生きぬく力をいただくことができるのは、むしろ悲しみや苦しみが多ければ多いほど、その功德をいただいで、新たな人生のスタートに立つことができる。ただこの御和讃で大事なことは、仏の本願に出遇うことこそが何よりも大切である。

Q&A

真宗の寺院で願い事をしたらダメなのか？



答え

我われは日々いろいろなことを願っています。その願いは凡そ「家内安全」「無病息災」「商売繁盛」の三つに分類されるようです。つまり自分や家族が安全で怪我や病氣なく健康であり経済的に不自由なく暮らしたいという願いです。これらの願いは我われにとって如何にも重要で当然な願いのよう、これが叶えるために生きていくと言つても過言ではないでしょうか。でも我われの願いはこれだけなのでしょうか。この願いが自分で成就できれば本当に安心なのでしょうか。自分自身の心底に問

いかけられる疑問もあることも事実でしょう。

「死ぬ前に後悔しない人生を歩みたい」と願い「今やりたいことをやるのだ」と公言される御門徒がおられました。しかし、やりたいことをやりたいだけする事が後悔しないことなのでしょうか。それは幻想ではないのでしょうか。後年、その御門徒は「私の願いは、ずっと後悔のしつばなしだ」としきりに述懐されていきました。自分に正直であればあるほど後悔がつきまとうようです。もし誰か臨終前に「私は後悔していない」というなら、それは自分の人生に妥協しているのではないのでしょうか。本当に悔いのない人生を望むなら後悔と共にある自分自身に正直に出遇させていただくしかないのでしょうか。

真宗の寺院はいつわりのない自分との出遇いの場所です。自分の願いに苛まれ苦しんでいる自分自身に『御同行・御同朋』と出遇っていく場所であることを願わずにおれません。

(第13組 道德寺 入江 賀彦)

年度末 諸会議について

天満別院では、年度末にあたり事業の反省と次年度の計画について左記の通り会議を開催致します。

記

2月16日(水) 16時
教化委員会 青年部会

3月1日(火) 15時
教化委員会 広報部会

3月3日(木) 15時
教化委員会 研修部会

3月4日(金) 16時
教化委員会 法要部会

3月22日(火) 15時
責任役員会

3月24日(木) 15時
院議会

